

秋田県声良鶏展覧会（5月1日）

秋田県声良鶏・比内鶏・金八鶏保存会が主催する「第65回県声良鶏展覧会詠い合わせ大会」がサンクレア大館（有浦）で開かれ、23羽の鶏が鳴き声を競いました。



何秒鳴けるかな？

この大会は、国の天然記念物指定の声良鶏の保存と普及を目指して、毎年大館桜まつりの期間に行われています。会場を訪れた愛好家や市民は、声良鶏の太く澄んだ「ゴツコ、ゴーオ」という重低音の鳴き声に耳を澄まし聞き入っていました。

市民陸上大会（5月2日）

第25回市民陸上競技大会が長根山陸上競技場で開かれ、小学生から一般まで560人が健脚を競いました。

選手たちは、家族や仲間の声援を受けて精いっぱい力走。この日は、2種目で大会新記録が生まれ、大会を一層盛り上げました。



優勝をねらうワン！
（社団法人秋田県民体育会）
この本部展は、毎年大館桜まつりに合わせて開かれています。

審査員は、毛色や毛質、立ち姿勢、耳や尾の具合、歯並びなどを入念にチェック。好天に恵まれた会場には、たくさんの市民や行楽客が詰め掛け、秋田犬の魅力に見入っていました。

秋田犬の本部展（5月3日）

この本部展は、毎年大館桜まつりに合わせて開かれています。

国の大天然記念物である秋田犬の第123回本部展（社団法人秋田犬保存会主催）が、桂城公園を会場に開かれ、全国各地から集まつた185匹の秋田犬が、容姿や気品を競いました。



矢立峠散策会（5月9日）
新緑の矢立峠で散策会が行われ、参加者たちは森林浴を満喫しました。
散策会には、市内外から約60人が参加。参加者は、天然秋田杉の木立を吹き抜けるさわやかな風の中、明治に天皇巡幸に合わせて、馬車が通り道として作られた明治新道などをたどりながら、4.3キロのコースを2時間半掛けて歩きました。

早起き野球大会開会式（5月2日）

大館市野球協会主催の早起き野球大会開会式が、樹海ドームで行われました。



この早起き野球は、全員に先駆けて昭和36年に始まつたもので、今年は新規加入の2チームを含む27チームが参加しました。鈴木会長の激励のあと、大館球友クラブの山内次夫さんが「最後まで正々堂々と戦い抜く」と声高らかに選手宣誓。

選手たちは、5月6日から4カ月間、全108試合の長丁場となる熱戦を繰り広げます。

秋田県比内鶏・金八鶏展覧会（5月4日）

秋田県声良鶏・比内鶏・金八鶏保存会が主催する「秋田県比内鶏・金八鶏展覧会」が市民体育館で開かれ、会員が自慢の鶏を出陳し容姿の美しさを競い合いました。



展覧会は、三鶏の普及のために毎年開かれているもの。審査員は、とさかの形や羽の色、立ち姿などを入念に審査。会場を訪れた市民は、興味深そうに審査の様子や、普段見ることの出来ない鶏たちを、じっくりと観察していました。